

講義科目4-8

臨床栄養学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

健常動物の栄養管理法および疾患動物における各疾患時の病態を理解し、それらに対する栄養補助、病態の悪化防止法などを含む栄養管理法について理解する。

(1) 栄養素の利用と代謝

一般目標：

消化吸収された糖質、脂質、タンパク質等の体内での利用および代謝経路について理解し、各栄養素の過不足と病態の関係についての基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 糖質の生体内移行経路と代謝経路を説明できる。
- 2) 脂質の生体内移行経路と代謝経路を説明できる。
- 3) アミノ酸の生体内移行経路と代謝経路を説明できる。
- 4) ビタミンとミネラルの機能と欠乏症、過剰症を説明できる。

(2) 臨床栄養学の概念

一般目標：

小動物分野における臨床栄養学の概念と必要性を理解する。

到達目標：

- 1) 健常動物における臨床栄養学の意義を説明できる。
- 2) 病態にあわせた栄養管理の意義と方法を説明できる。

(3) 消化器および内分泌疾患における 栄養管理

一般目標：

消化器および内分泌疾患の病態を理解し、食事性

因子について理解する。

到達目標：

- △1) 主要な消化器疾患の病態と食事による増悪・改善因子を説明できる。
- △2) 糖尿病の病態と栄養管理を説明できる。

(4) 泌尿器および循環器疾患における 栄養管理

一般目標：

腎不全、尿石症などの泌尿器疾患ならびに主要な心疾患における栄養管理について理解する。

到達目標：

- △1) 腎疾患、腎不全における食事療法の意義と実際を説明できる。
- △2) 尿石症における食事療法を説明できる。
- △3) 高血圧、うっ血性心不全などの疾患における栄養管理を説明できる。

(5) その他の疾患における栄養管理

一般目標：

アレルギー性皮膚疾患や骨関節疾患などの疾患における栄養管理について理解する。

到達目標：

- △1) アレルギー性皮膚疾患の病態と栄養管理を説明できる。
- △2) 骨関節疾患の栄養管理を説明できる。